

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6407109号  
(P6407109)

(45) 発行日 平成30年10月17日(2018.10.17)

(24) 登録日 平成30年9月28日(2018.9.28)

(51) Int.Cl.

F 1

B 6 6 B 13/06 (2006.01)

B 6 6 B 13/06

Z

請求項の数 6 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2015-136151 (P2015-136151)	(73) 特許権者	000236056
(22) 出願日	平成27年7月7日(2015.7.7)		三菱電機ビルテクノサービス株式会社
(65) 公開番号	特開2017-19574 (P2017-19574A)		東京都千代田区有楽町一丁目7番1号
(43) 公開日	平成29年1月26日(2017.1.26)	(74) 代理人	100110423
審査請求日	平成29年9月4日(2017.9.4)		弁理士 曾我 道治
		(74) 代理人	100111648
			弁理士 梶並 順
		(74) 代理人	100147566
			弁理士 上田 俊一
		(74) 代理人	100161171
			弁理士 吉田 潤一郎
		(74) 代理人	100117776
			弁理士 武井 義一
		(74) 代理人	100188329
			弁理士 田村 義行

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 4方向オープン円筒形エレベータ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周方向に順に並べられた第1かごドア、第2かごドア、第3かごドアおよび第4かごドアを有し、昇降路を昇降する円筒形状のかごを備え、

前記第1かごドアは、前記第1かごドアが戸開位置にある場合に前記第2かごドアと重なり、

前記第2かごドアは、前記第2かごドアが戸開位置にある場合に前記第1かごドアと重なり、

前記第3かごドアは、前記第3かごドアが戸開位置にある場合に前記第4かごドアと重なり、

前記第4かごドアは、前記第4かごドアが戸開位置にある場合に前記第3かごドアと重なることを特徴とする4方向オープン円筒形エレベータ。

【請求項 2】

前記第1かごドアの位置は、前記第3かごドアが戸開位置にある場合に戸開位置となることを特徴とする請求項1に記載の4方向オープン円筒形エレベータ。

【請求項 3】

前記第2かごドアの位置は、前記第4かごドアが戸開位置にある場合に戸開位置となることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の4方向オープン円筒形エレベータ。

【請求項 4】

前記かごの昇降に連動して前記昇降路を昇降するつり合い重り装置をさらに備え、

10

20

前記つり合い重り装置は、第 1 重り部と、上方から視た場合に前記第 1 重り部との間に前記かごが配置されるよう設けられた第 2 重り部とを有していることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 までの何れか一項に記載の 4 方向オープン円筒形エレベータ。

【請求項 5】

前記第 1 かごドア、前記第 2 かごドア、前記第 3 かごドアおよび前記第 4 かごドアのそれぞれを変位させるドア駆動装置と、

戸開ドア情報が入力され、入力された前記戸開ドア情報に基づいて前記ドア駆動装置の駆動を制御するドア制御装置と

をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 から請求項 4 までの何れか一項に記載の 4 方向オープン円筒形エレベータ。

10

【請求項 6】

前記戸開ドア情報を前記ドア制御装置に入力する戸開ドア情報入力装置をさらに備えたことを特徴とする請求項 5 に記載の 4 方向オープン円筒形エレベータ。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この発明は、4 個のかごドアを備えた 4 方向オープン円筒形エレベータに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、4 枚の側壁を有しそれぞれの側壁にかご出入口が形成されたかごと、それぞれのかご出入口を開閉する 4 個のかごドアとを備えた 4 方向オープンエレベータが知られている（例えば、特許文献 1 参照）。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】実用新案登録第 3 1 6 1 1 7 1 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、かご出入口は、かごドアが戸開位置にある場合にかごドア全体が側壁と重なるように形成されている。したがって、かご出入口の幅方向の寸法が小さくなってしまいう問題点があった。

30

【0005】

この発明は、かご出入口の幅方向の寸法をより大きくすることができる 4 方向オープン円筒形エレベータを提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

この発明に係る 4 方向オープン円筒形エレベータは、周方向に順に並べられた第 1 かごドア、第 2 かごドア、第 3 かごドアおよび第 4 かごドアを有し、昇降路を昇降する円筒形状のかごを備え、第 1 かごドアは、第 1 かごドアが戸開位置にある場合に第 2 かごドアと重なり、第 2 かごドアは、第 2 かごドアが戸開位置にある場合に第 1 かごドアと重なり、第 3 かごドアは、第 3 かごドアが戸開位置にある場合に第 4 かごドアと重なり、第 4 かごドアは、第 4 かごドアが戸開位置にある場合に第 3 かごドアと重なる。

40

【発明の効果】

【0007】

この発明に係る 4 方向オープン円筒形エレベータによれば、第 1 かごドアは、第 1 かごドアが戸開位置にある場合に第 2 かごドアと重なり、第 2 かごドアは、第 2 かごドアが戸開位置にある場合に第 1 かごドアと重なり、第 3 かごドアは、第 3 かごドアが戸開位置にある場合に第 4 かごドアと重なり、第 4 かごドアは、第 4 かごドアが戸開位置にある場合に第 3 かごドアと重なるので、かご出入口の幅方向の寸法をより大きくすることができる

50

。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 8 】

【図 1】この発明の実施の形態 1 に係る 4 方向オープン円筒形エレベータを示す正面図である。

【図 2】図 1 の I I - I I 線に沿った矢視断面図である。

【図 3】図 1 の 4 方向オープン円筒形エレベータを示すブロック図である。

【図 4】図 2 の第 1 かごドアおよび第 3 かごドアが戸開位置にある場合を示す断面図である。

【図 5】図 2 の第 2 かごドアおよび第 4 かごドアが戸開位置にある場合を示す断面図である。

10

【図 6】この発明の実施の形態 1 に係る 4 方向オープン円筒形エレベータの変形例を示す断面図である。

【図 7】この発明の実施の形態 2 に係る 4 方向オープン円筒形エレベータを示す断面図である。

【図 8】図 7 の 4 方向オープン円筒形エレベータを示すブロック図である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 0 9 】

実施の形態 1 .

図 1 はこの発明の実施の形態 1 に係る 4 方向オープン円筒形エレベータを示す正面図、図 2 は図 1 の I I - I I 線に沿った矢視断面図である。図において、4 方向オープン円筒形エレベータは、昇降路 1 0 0 に立てられた一対のかご用ガイドレール 1 と、かご用ガイドレール 1 に案内されて昇降路 1 0 0 を昇降する円筒形状のかご 2 と、かご 2 に設けられ、かご 2 に乗った利用者に操作されるかご操作盤（戸開ドア情報入力装置）3 と、かご 2 の昇降に連動して昇降路 1 0 0 を昇降するつり合い重り装置 4 と、かご 2 の上部とつり合い重り装置 4 の上部とに接続された複数本の主ロープ 5 とを備えている。

20

【 0 0 1 0 】

かご 2 は、主ロープ 5 に接続されたかご枠 6 と、かご枠 6 に支持されたかご本体 7 とを有している。かご枠 6 は、かご本体 7 を支持する下枠 6 1 と、下枠 6 1 に立てられた 4 本の縦枠 6 2 と、それぞれの縦枠 6 2 の上部に接続され、主ロープ 5 に接続された上枠 6 3 とを有している。4 本の縦枠 6 2 は、上方から見た場合に、周方向に等間隔に並べて配置されている。

30

【 0 0 1 1 】

かご本体 7 は、下枠 6 1 に支持されたかご床 7 1 と、かご床 7 1 の上方に設けられたかごドア装置 7 2 とを有している。かご床 7 1 は、円板形状に形成されている。

【 0 0 1 2 】

かごドア装置 7 2 は、第 1 かごドア 7 2 1 と、第 2 かごドア 7 2 2 と、第 3 かごドア 7 2 3 と、第 4 かごドア 7 2 4 とを有している。第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 は、周方向に順に並べられている。第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 のそれぞれが戸開位置にある場合に、第 1 かごドア 7 2 1 と第 3 かごドア 7 2 3 とが互いに対向し、第 2 かごドア 7 2 2 と第 4 かごドア 7 2 4 とが互いに対向する。

40

【 0 0 1 3 】

図 3 は図 1 の 4 方向オープン円筒形エレベータを示すブロック図である。4 方向オープン円筒形エレベータは、かご操作盤 3 に電氣的に接続されたエレベータ制御盤 8 をさらに備えている。エレベータ制御盤 8 には、かご操作盤 3 から戸開ドア情報が入力される。かごドア装置 7 2 は、第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 のそれぞれを変位させるドア駆動装置 7 2 5 と、ドア駆動装置 7 2 5 の駆動を制御するドア制御装置 7 2 6 とをさらに有している。エレベータ制御盤 8 は、ドア制御装置 7 2 6 に電氣的に接続されている。ドア制御装置 7 2 6 には、エレベータ制

50

御盤 8 から戸開ドア情報が入力される。ドア制御装置 7 2 6 は、入力された戸開ドア情報に基づいて、ドア駆動装置 7 2 5 の駆動を制御する。

【 0 0 1 4 】

ドア駆動装置 7 2 5 は、一般に知られている円筒形エレベータにおけるドア駆動装置と同様の構成となっている。具体的には、第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 のそれぞれに対して設けられたドアモータを有しており、それぞれのドアモータが駆動することによって第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 のそれぞれを変位させる。第 1 かごドア 7 2 1 のドアモータの取付位置は、第 2 かごドア 7 2 2 の上部であり、第 2 かごドア 7 2 2 のドアモータの取付位置は、第 1 かごドア 7 2 1 の上部となっている。第 3 かごドア 7 2 3 のドアモータの取付位置は、第 4 かごドア 7 2 4 の上部であり、第 4 かごドア 7 2 4 のドアモータの取付位置は、第 3 かごドア 7 2 3 の上部となっている。つまり、それぞれのドアモータの取付位置は、かごドアが戸閉位置から戸開位置に引き込まれる側に隣り合うかごドアの上方となっている。

10

【 0 0 1 5 】

戸開ドア情報とは、かご 2 が目的階に到着した場合に第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 の中で戸閉位置から戸開位置に変位させるかごドアを示す情報である。

【 0 0 1 6 】

図 2 に示すように、かご操作盤 3 は、かご床 7 1 に立てられている。なお、かご操作盤 3 は、4 本の縦枠 6 2 の中の一方の縦枠 6 2 に取り付けられてもよく、天井から吊下げてよい。かご操作盤 3 は、操作されることによって、戸開ドア情報がドア制御装置 7 2 6 に入力される。利用者がかご操作盤 3 を操作することによって、戸開ドア情報がドア制御装置 7 2 6 に入力される。

20

【 0 0 1 7 】

かご出入口を構成する幅方向の側壁は、第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 から構成されている。具体的には、第 1 かごドア 7 2 1 が開閉するかご出入口を構成する幅方向の側壁は、第 2 かごドア 7 2 2 および第 4 かごドア 7 2 4 から構成されている。また、第 2 かごドア 7 2 2 が開閉するかご出入口を構成する幅方向の側壁は、第 1 かごドア 7 2 1 および第 3 かごドア 7 2 3 から構成されている。また、第 3 かごドア 7 2 3 が開閉するかご出入口を構成する幅方向の側壁は、第 2 かごドア 7 2 2 および第 4 かごドア 7 2 4 から構成されている。また、第 4 かごドア 7 2 4 が開閉するかご出入口を構成する幅方向の側壁は、第 1 かごドア 7 2 1 および第 3 かごドア 7 2 3 から構成されている。

30

【 0 0 1 8 】

つり合い重り装置 4 は、第 1 重り部 4 1 と、上方から視た場合に第 1 の重り部 4 1 との間にかご 2 が配置されるよう設けられた第 2 重り部 4 2 とを有している。第 1 重り部 4 1 および第 2 重り部 4 2 のそれぞれに主ロープ 5 が接続されている。

【 0 0 1 9 】

第 1 重り部 4 1 および第 2 重り部 4 1 は、上方から視た場合に第 1 重り部 4 1 と第 2 重り部 4 1 とを繋ぐ直線が一对のかご用ガイドレール 1 を繋ぐ直線に対して直交するように、配置されている。これにより、上方から視た場合における昇降路 1 0 0 の側壁とかご 2 との間の寸法をより小さくすることができる。また、つり合い重り装置 4 が第 1 重り部 4 1 および第 2 重り部 4 2 に分割されているので、それぞれの径方向の寸法を小さくすることができ、その結果、上方から視た場合における昇降路 1 0 0 の側壁とかご 2 との間の寸法をより小さくすることができる。

40

【 0 0 2 0 】

この例では、1 : 1 ローピングのエレベータについて説明するが、例えば、2 : 1 ローピングのエレベータ等であってもよい。

【 0 0 2 1 】

50

次に、４方向オープン円筒形エレベータの動作について説明する。図４は図２の第１かごドア７２１および第３かごドア７２３が戸開位置にある場合を示す断面図、図５は図２の第２かごドア７２２および第４かごドア７２４が戸開位置にある場合を示す断面図である。利用者がかご操作盤３を操作することによって、戸開ドア情報がドア制御装置７２６に入力される。これにより、ドア駆動装置７２５が駆動する。第１かごドア７２１、第２かごドア７２２、第３かごドア７２３および第４かごドア７２４のそれぞれは、上方から見た場合におけるかご２の中心を中心としてかご２の周方向に９０度だけ回転することによって、戸閉位置と戸開位置との間で変位する。

【００２２】

第１かごドア７２１は、第１かごドア７２１が戸開位置にある場合に戸閉位置にある第２かごドア７２２と全体が径方向について重なる。第２かごドア７２２は、第２かごドア７２２が戸開位置にある場合に戸閉位置にある第１かごドア７２１と全体が径方向について重なる。第１かごドア７２１が戸閉位置から戸開位置に変位する場合には、第２かごドア７２２の位置は戸閉位置のままとなり、第２かごドア７２２が戸閉位置から戸開位置に変位する場合には、第１かごドア７２１の位置は戸閉位置のままとなる。

【００２３】

第３かごドア７２３は、第３かごドア７２３が戸開位置にある場合に戸閉位置にある第４かごドア７２４と全体が径方向について重なる。第４かごドア７２４は、第４かごドア７２４が戸開位置にある場合に戸閉位置にある第３かごドア７２３と全体が径方向について重なる。第３かごドア７２３が戸閉位置から戸開位置に変位する場合には、第４かごドア７２４の位置は戸閉位置のままとなり、第４かごドア７２４が戸閉位置から戸開位置に変位する場合には、第３かごドア７２３の位置は戸閉位置のままとなる。

【００２４】

第１かごドア７２１の位置が戸開位置である場合に、第１かごドア７２１の全体が第２かごドア７２２と重なる。したがって、第１かごドア７２１が開閉するかご出入口の幅方向の寸法は、かご本体７の外周の寸法の１／４となる。第２かごドア７２２の位置が戸開位置である場合に、第２かごドア７２２の全体が第１かごドア７２１と重なる。したがって、第２かごドア７２２が開閉するかご出入口の幅方向の寸法は、かご本体７の外周の寸法の１／４となる。第３かごドア７２３の位置が戸開位置である場合に、第３かごドア７２３の全体が第４かごドア７２４と重なる。したがって、第３かごドア７２３が開閉するかご出入口の幅方向の寸法は、かご本体７の外周の寸法の１／４となる。第４かごドア７２４の位置が戸開位置である場合に、第４かごドア７２４の全体が第３かごドア７２３と重なる。したがって、第４かごドア７２４が開閉するかご出入口の幅方向の寸法は、かご本体７の外周の寸法の１／４となる。

【００２５】

また、第１かごドア７２１の位置は、第３かごドア７２３が戸開位置にある場合に戸開位置となる。つまり、第１かごドア７２１および第３かごドア７２３のそれぞれは、同じタイミングで戸閉位置と戸開位置との間で変位する。したがって、第１かごドア７２１が開閉するかご出入口および第３かごドア７２３が開閉するかご出入口の両方から利用者が同じタイミングでかご２に乗降することができる。

【００２６】

また、第２かごドア７２２の位置は、第４かごドア７２４が戸開位置にある場合に戸開位置となる。つまり、第２かごドア７２２および第４かごドア７２４のそれぞれは、同じタイミングで戸閉位置と戸開位置との間で変位する。したがって、第２かごドア７２２が開閉するかご出入口および第４かごドア７２４が開閉するかご出入口の両方から利用者が同じタイミングでかご２に乗降することができる。

【００２７】

以上説明したように、この発明の実施の形態１に係る４方向オープン円筒形エレベータによれば、周方向に順に並べられた第１かごドア７２１、第２かごドア７２２、第３かごドア７２３および第４かごドア７２４を有し、昇降路１００を昇降する円筒形状のかご２

10

20

30

40

50

を備え、第1かごドア721は、第1かごドア721が戸開位置にある場合に第2かごドア722と重なり、第2かごドア722は、第2かごドア722が戸開位置にある場合に第1かごドア721と重なり、第3かごドア723は、第3かごドア723が戸開位置にある場合に第4かごドア724と重なり、第4かごドア724は、第4かごドア724が戸開位置にある場合に第3かごドア723と重なるので、第1かごドア721が開閉するかご出入口、第2かごドア722が開閉するかご出入口、第3かごドア723が開閉するかご出入口および第4かごドア724が開閉するかご出入口のそれぞれの幅方向の寸法をより大きくすることができる。

【0028】

また、第1かごドア721の位置は、第3かごドア723が戸開位置にある場合に戸開位置となるので、第1かごドア721が開閉するかご出入口および第3かごドア723が開閉するかご出入口の両方から利用者が同じタイミングでかご2に乗降することができる。

10

【0029】

また、第2かごドア722の位置は、第4かごドア724が戸開位置にある場合に戸開位置となるので、第2かごドア722が開閉するかご出入口および第4かごドア724が開閉するかご出入口の両方から利用者が同じタイミングでかご2に乗降することができる。

【0030】

また、この4方向オープン円筒形エレベータは、かご2の昇降に連動して昇降路100を昇降するつり合い重り装置4をさらに備え、つり合い重り装置4は、第1重り部41と、上方から視た場合に第1重り部41との間にかご2が配置されるよう設けられた第2重り部42とを有しているので、上方から視た場合における昇降路100の側壁とかご2との間の寸法をより小さくすることができる。

20

【0031】

また、この4方向オープン円筒形エレベータは、第1かごドア721、第2かごドア722、第3かごドア723および第4かごドア724のそれぞれを変位させるドア駆動装置725と、戸開ドア情報が入力され、入力された戸開ドア情報に基づいてドア駆動装置725の動作を制御するドア制御装置726とをさらに備えているので、ドア制御装置726に戸開ドア情報を入力することによって、第1かごドア721、第2かごドア722、第3かごドア723および第4かごドア724のそれぞれを自由に変位させることができる。

30

【0032】

また、この4方向オープン円筒形エレベータは、戸開ドア情報をドア制御装置726に入力するかご操作盤3をさらに備えているので、利用者がかご操作盤3を操作することによって、第1かごドア721、第2かごドア722、第3かごドア723および第4かごドア724のそれぞれを自由に変位させることができる。その結果、利用者が通るかご出入口を利用者が自由に選択することができる。

【0033】

なお、上記実施の形態1では、第1かごドア721、第2かごドア722、第3かごドア723および第4かごドア724のそれぞれが、上方から視た場合のかご2の中心を中心としてかご2の周方向に90度だけ回転することによって、戸閉位置と戸開位置との間で変位する構成について説明したが、図6に示すように、第2かごドア722、第3かごドア723および第4かごドア724のそれぞれが、上方から視た場合のかご2の中心を中心としてかご2の周方向に45度だけ回転することによって、戸閉位置と戸開位置との間で変位する構成であってもよい。この場合、第1かごドア721が戸閉位置から戸開位置に変位するとともに、第2かごドア722が戸閉位置から戸開位置に変位する。第1かごドア721は、第1かごドア721が戸開位置にある場合に戸開位置にある第2かごドア722と全体が径方向について重なる。また、第3かごドア723が戸閉位置から戸開位置に変位するとともに、第4かごドア724が戸閉位置から戸開位置に変位する。第3

40

50

かごドア 7 2 3 は、第 3 かごドア 7 2 3 が戸開位置にある場合に戸開位置にある第 4 かごドア 7 2 4 と全体が径方向について重なる。この構成であっても、第 1 かごドア 7 2 1 は、第 1 かごドア 7 2 1 が戸開位置にある場合に第 2 かごドア 7 2 2 と重なり、第 2 かごドア 7 2 2 は、第 2 かごドア 7 2 2 が戸開位置にある場合に第 1 かごドア 7 2 1 と重なり、第 3 かごドア 7 2 3 は、第 3 かごドア 7 2 3 が戸開位置にある場合に第 4 かごドア 7 2 4 と重なり、第 4 かごドア 7 2 4 は、第 4 かごドア 7 2 4 が戸開位置にある場合に第 3 かごドア 7 2 3 と重なるので、第 1 かごドア 7 2 1 が開閉するかご出入口、第 2 かごドア 7 2 2 が開閉するかご出入口、第 3 かごドア 7 2 3 が開閉するかご出入口および第 4 かごドア 7 2 4 が開閉するかご出入口のそれぞれの幅方向の寸法をより大きくすることができる。

【 0 0 3 4 】

10

実施の形態 2 .

図 7 はこの発明の実施の形態 2 に係る 4 方向オープン円筒形エレベータを示す断面図、図 8 は図 7 の 4 方向オープン円筒形エレベータを示すブロック図である。4 方向オープン円筒形エレベータが設置される建物の各階は、4 方向オープン円筒形エレベータのそれぞれのかご出入口の位置に対応して、4 個の部屋が配置されている。つまり、建物の各階には、それぞれの乗場出入口を仕切る 4 個の壁 1 0 1 が配置されている。第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 は、4 個の部屋の何れかに互いに別々に対応している。

【 0 0 3 5 】

4 方向オープン円筒形エレベータは、基準階の乗場に設けられた個人情報装置（戸開ドア情報入力装置）9 をさらに備えている。個人情報装置 9 は、IC カード等から利用者を特定する個人情報が入力される個人情報入力装置 9 1 と、入力された個人情報に対応する階および部屋の情報が記憶されたデータベース 9 2 と、個人情報入力装置 9 1 に入力された個人情報に対応する階および部屋の情報をデータベース 9 2 から取得して、取得した階および部屋の情報をエレベータ制御盤 8 に入力する階部屋情報入力装置 9 3 とを有している。この例では、部屋の情報が戸開ドア情報となっている。その他の構成は、実施の形態 1 と同様である。

20

【 0 0 3 6 】

次に、4 方向オープン円筒形エレベータの動作について説明する。利用者が個人情報を個人情報装置 9 に入力すると、入力された個人情報に対応する階および部屋の情報がドア制御装置 7 2 6 に入力される。これにより、ドア駆動装置 7 2 5 が駆動する。第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 のそれぞれは、上方から見た場合のかご 2 の中心を中心としてかご 2 の周方向に 9 0 度だけ回転することによって、戸閉位置と戸開位置との間で変位する。その他の動作は、実施の形態 1 と同様である。

30

【 0 0 3 7 】

以上説明したように、この発明の実施の形態 2 に係る 4 方向オープン円筒形エレベータによれば、戸開ドア情報をドア制御装置 7 2 6 に入力する個人情報装置 9 をさらに備えているので、利用者が個人情報装置 9 に個人情報を入力することによって、個人情報に対応する部屋に対応する第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 の何れかを変位させることができる。

40

【 0 0 3 8 】

なお、上記実施の形態 2 では、第 1 かごドア 7 2 1、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 のそれぞれが、上方から見た場合のかご 2 の中心を中心としてかご 2 の周方向に 9 0 度だけ回転することによって、戸閉位置と戸開位置との間で変位する構成について説明したが、図 6 に示すように、第 2 かごドア 7 2 2、第 3 かごドア 7 2 3 および第 4 かごドア 7 2 4 のそれぞれが、上方から見た場合のかご 2 の中心を中心としてかご 2 の周方向に 4 5 度だけ回転することによって、戸閉位置と戸開位置との間で変位する構成であってもよい。

【 0 0 3 9 】

50

また、各上記実施の形態では、第3かごドア723が戸開位置にある場合に第1かごドア721の位置が戸開位置となる構成について説明したが、第3かごドア723が戸閉位置にある場合に第1かごドア721の位置が戸開位置となる構成であってもよい。

【0040】

また、各上記実施の形態では、第4かごドア724が戸開位置にある場合に第2かごドア722の位置が戸開位置となる構成について説明したが、第4かごドア724が戸閉位置にある場合に第2かごドア722の位置が戸開位置となる構成であってもよい。

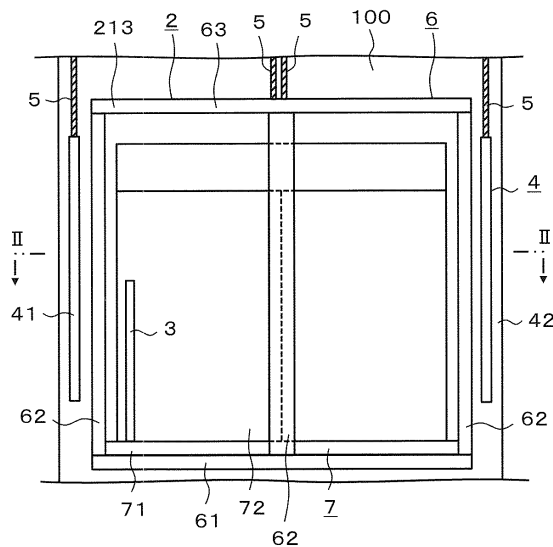
【符号の説明】

【0041】

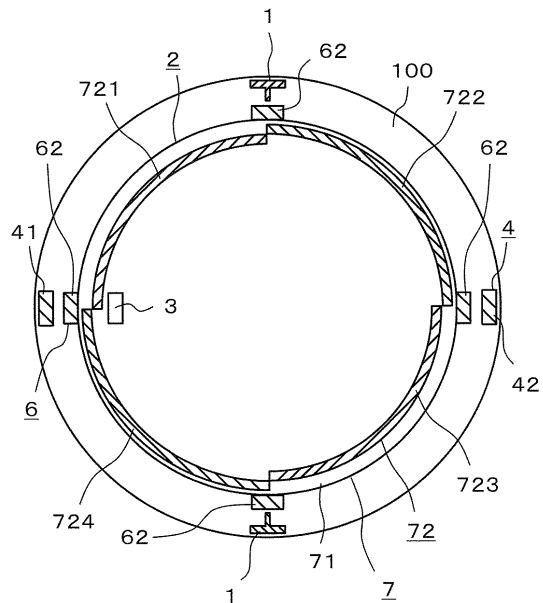
1 かご用ガイドレール、2 かご、3 かご操作盤（戸開ドア情報入力装置）、4 つり合い重り装置、5 主ロープ、6 かご枠、7 かご本体、8 エレベータ制御盤、9 個人情報装置（戸開ドア情報入力装置）、41 第1重り部、42 第2重り部、61 下枠、62 縦枠、63 上枠、71 かご床、72 かごドア装置、91 個人情報入力装置、92 データベース、93 階部屋情報入力装置、100 昇降路、101 壁、721 第1かごドア、722 第2かごドア、723 第3かごドア、724 第4かごドア、725 ドア駆動装置、726 ドア制御装置。

10

【図1】

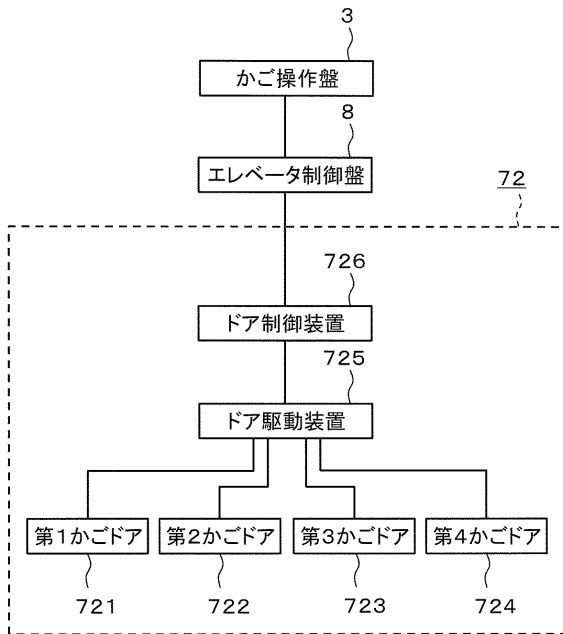


【図2】

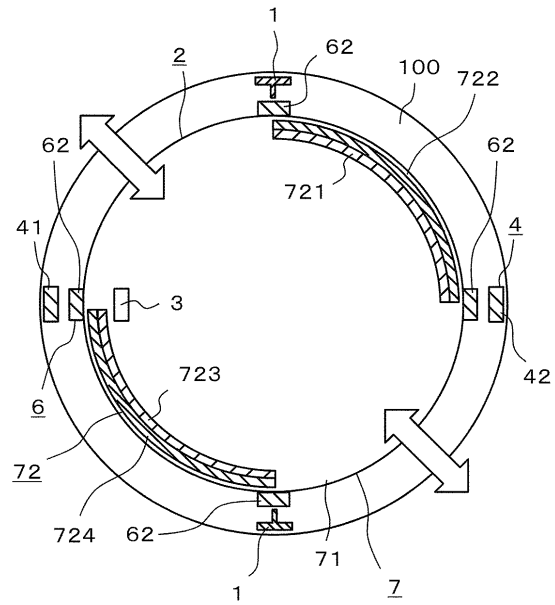




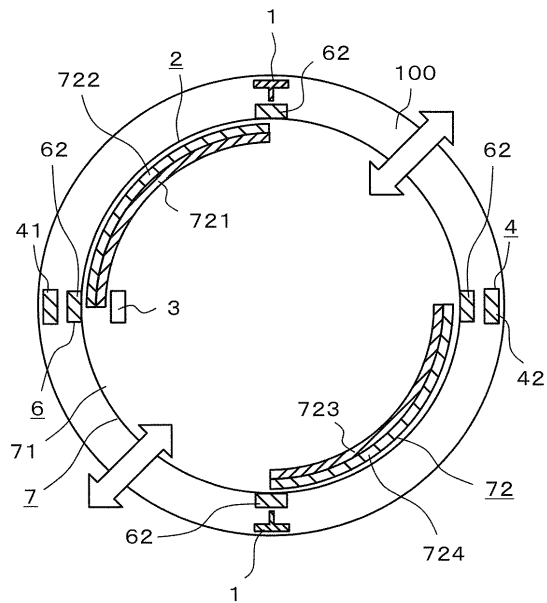
【 図 3 】



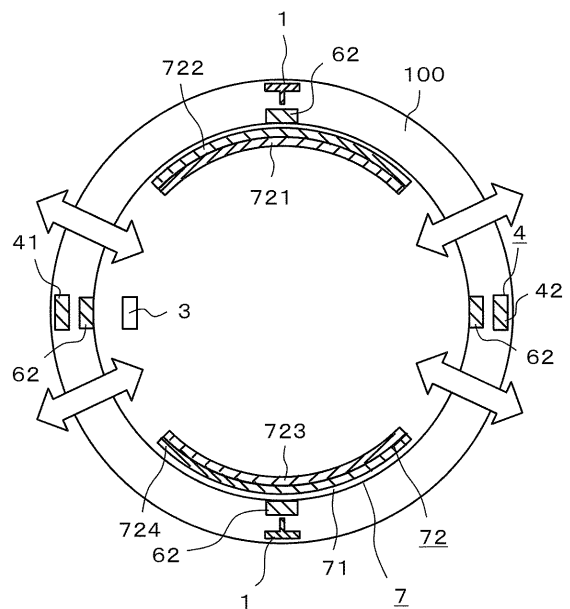
【 図 4 】



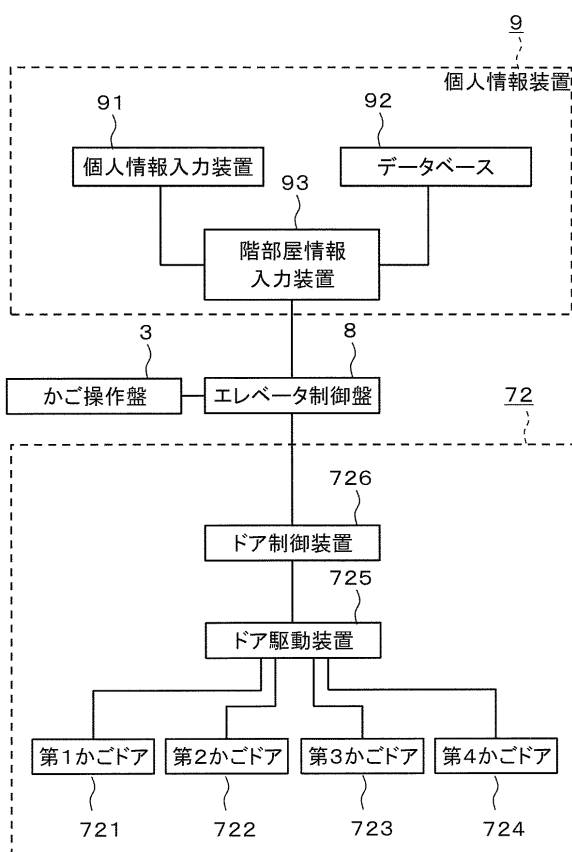
【 図 5 】



【 図 6 】



【圖 8】



---

フロントページの続き

(74)代理人 100188514

弁理士 松岡 隆裕

(74)代理人 100090011

弁理士 茂泉 修司

(74)代理人 100194939

弁理士 別所 公博

(72)発明者 庄子 博

東京都千代田区有楽町一丁目7番1号 三菱電機ビルテクノサービス株式会社内

審査官 羽月 竜治

(56)参考文献 実開平03-118989(JP,U)

特開平10-007343(JP,A)

登録実用新案第3161171(JP,U)

特開平8-175773(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B66B 13/00-13/30